

**令和7年度  
流域治水・減災対策に係る  
各機関の取組事例**

# 釧路市防災総合訓練、釧路市職員避難所開設・運営訓練の実施

## (釧路市の取組事例)

◆雌阿寒岳の噴火及び降雨型泥流の発生を想定した各種訓練等を行い、災害時における迅速な対応を検証するとともに、職員の防災対応力向上を図ることを目的として、釧路市阿寒地区防災訓練（火山）を実施した。

◆新着任職員等に対し、避難所開設・運営方法の理解を深めてもらい、職員の防災意識向上を目的として、避難所開設・運営訓練を実施した。

### 釧路市阿寒地区防災訓練(火山)

- ・令和7年9月30日(火) 9時00分～12時00分
- ・協力及び実施機関等 10機関 約100名
- ・初動体制構築訓練、情報伝達訓練、避難訓練 避難所運営訓練、防災講話 等



初動体制構築訓練



情報伝達訓練



避難訓練



防災講話

### 釧路市職員避難所開設・運営訓練

- ・令和7年10月16日(木) 10時00分～15時00分
- ・訓練参加者 約30名(避難所開設班の新着任職員を対象)
- ・職員向け防災講座(座学)、受付・誘導訓練(ペット同行避難等)、搬入資機材(段ボールベッド・簡易トイレ)組立及び設置訓練 等



職員向け防災講座



避難所受付・誘導訓練



避難所開設訓練



トイレ組立及び設置訓練

## (標茶町の取組事例)

- ◆ 令和7年8月31日に標茶町総合防災訓練を実施。
- ◆ オンラインでの情報共有、避難所での設営訓練などを実施する。

災害対策本部では新たな取組みとして、オンラインで関係部署と情報共有し、併せて避難所、現場活動のライブ配信を画面上で確認しました。



過去に発生した水害現場で土嚢積み訓練を実施しました。



避難所設営訓練では住民の方に室内テントの組立てを体験してもらい、消防職員によるドローンの飛行訓練展示や感震ブレーカーの説明のほか、防災用品販売会社による防災用品の展示、町が保有する防災備蓄品や装備展示を行いました。



## (その他の取組事例)

### 1日防災学校

・虹別小学校、虹別中学校にて1日防災学校を実施。段ボールベッドの組み立て、パーティションの設営訓練を行い、防災力の向上を図りました。

### 河川防災学習

・標茶小学校にて河川防災学習を実施。「マイタイムラインを作ろう」をグループ学習で行い、問題点を話し合い、防災力の向上を図りました。

(釧路町の取組事例)

## ◆大規模災害への備え①：釧路町総合防災訓練

### ■釧路町総合防災訓練

日本海溝・千島海溝巨大地震を想定した避難訓練を昆布森地区において避難訓練を実施。

【開催日】令和7年11月2日(日) 【参加者】161人

【会場】昆布森地区 【参加機関】3機関



(避難場所の様子)



(昆布森小学校裏山避難階段)



(震災語り部講座)

(釧路町の取組事例)

## ◆大規模災害への備え②：避難タワー避難訓練

令和7年2月と4月に供用開始した3基の避難タワーを使用した地域住民の避難訓練を実施。

- 春日公園避難タワー 21名
  - 中園公園避難タワー 53名
  - いずみ公園避難タワー 36名 (ペット1匹)
- 合計110名



(避難スロープ消防職員による避難誘導)



(町長の総評)



(AED講習)

# 避難訓練、防災研修会等の実施

(厚岸町の取組事例)

- ◆ 国土交通省が厚岸町のほか、北海道、釧路市、釧路町と共同で実施する「大規模津波防災総合訓練」と併せて、令和7年11月2日に行う予定だったが、前日の荒天により中止となった。
- ◆ 防災に関する知識を学び、防災意識の向上を目的として、各自治会や学校を対象とした防災研修会や防災授業等を実施した。

## 防災研修会

- ・ 自治会等において、ハザードマップや防災資機材を用い、災害時の避難行動や避難場所等に関する知識を学ぶ防災研修会を行った。



防災研修会の様子

## 防災授業

- ・ 町内の学校等において、ハザードマップや防災資機材を用い、災害時の避難行動や避難場所等に関する知識を学ぶ防災授業を行った。



防災授業の様子

# 村立学校における防災教室

(鶴居村の取組事例)

- ◆ 災害時における基本的な行動を理解するとともに、防災意識を高めることを目的として、中学生を対象とした防災教室に講師として参加した。

## 鶴居中学校「1日防災学校」

- ・ 令和7年6月18日(水)
- ・ 鶴居中学校 生徒10名
- ・ 防災備蓄食料を活用した防災食調理体験、避難所設営等訓練、防災クイズ



消防職員による防災講話



段ボールベッド組立訓練



スナック菓子を活用したポテトサラダ等の防災食づくり体験

## 弟子屈町の取組みと防災教育

### ▶ 弟子屈町の取組み

「ふれあい広場」の利用

◎夏祭りの実施



◎認定こども園ヤマメの稚魚の放流

本年度は悪天候により中止

### ▶ 防災教育

▶ 美留和小学校の一日防災学校



▶ 弟子屈小学校4年生の防災授業



## 消防団水防訓練と弟子屈町総合防災訓練

### ▶ 弟子屈町総合防災訓練

- ▶ 災害情報伝達訓練
- ▶ 災害時の避難訓練
- ▶ 避難所受付訓練
- ▶ 要配慮者の避難・受入訓練
- ▶ 避難所の設営訓練  
(住民・ボランティア団体による)
- ▶ 炊出し訓練  
(町給食センターとボランティア団体による)



### ▶ 弟子屈町消防団水防訓練



## (白糠町の取組事例)

- ◆ 本別町との包括交流連携協定に規定する「災害対策・支援」に基づく目標達成のため、発災時の受援、支援体制等連携、行動確認の合同訓練を実施した。
- ◆ 中学1年生を対象とした防災施設見学・体験や、1泊2日の防災宿泊学習を含む防災教育を実施した。

### 白糠町・本別町包括交流連携協定災害応急合同訓練

- ・ 令和6年8月21日、白糠町より本別町の避難所へ物資を提供する想定で、白糠町・本別町の職員など25名により実施。
- ・ 白糠町の職員を要支援者に見立て、実際に本別町までの移送や、要支援者を引継ぐ際にプッシュ型支援物資の引渡しなども行った。

### 中学生を対象とした複数日程による防災教育

- ・ 令和6年9月に施設見学、11月に宿泊防災学習を実施し、中学1年生、町内会など延べ45人が参加
- ・ 避難所運営ゲーム(HUG)・避難所設営訓練及び、町内各災害時排水ポンプ場・避難場所等の施設見学を実施



白糠町・本別町包括交流連携協定災害応急合同訓練の様子



施設見学の様子

宿泊学習の様子

## (浜中町の取組事例)

- ◆ 災害対応力の強化を図ることを目的として、災害対策にあたる防災機関と共同で日本海溝・千島海溝沿い巨大地震・大津波の発生を想定した防災総合訓練を実施した。

実施日：令和7年11月10日(月)

実施場所：浜中町役場庁舎周辺及び防災広場

参加機関：釧路開発建設部、釧路地方气象台、陸上自衛隊、釧路海上保安部、釧路航空基地、釧路総合振興局、厚岸警察署、浜中消防署、浜中消防団、浜中町社会福祉協議会、浜中町赤十字奉仕団、浜中町自治会連合会、北電根室ネットワークセンター、北海道コカ・コーラボトリング、株式会社日本無線

訓練内容：津波避難訓練、防災学習、負傷者等輸送訓練、炊き出し訓練、避難所設営訓練、防災イベント 等



# 防災関係機関との連携、防災講話等の実施

(北海道警察の取組事例)

- ◆ 各種防災訓練に参加し、関係機関との連携を確認しながら避難誘導等を実施するとともに、発災時に備えた各種訓練を実施し、救出救助技術の向上を図った。
- ◆ 釧路地方に転入した外国人技能実習生に対する防災講話を実施したほか、防災訓練等の参加者に防災啓発活動を実施し、住民の防災意識の高揚に努めた。

## 防災関係機関との連携、救出救助技術の向上

- ・ 釧路市内小学校の避難訓練において、警察の役割や実施手順を確認し、円滑な避難誘導を実施した。
- ・ 出水期の河川氾濫等の水害に備えて、救助ボートを使用した救出救助訓練を実施した。



小学校の避難訓練に参加



出水期に向けた救出救助訓練

## 防災講話や防災啓発活動等の実施

- ・ 釧路市居住の外国人技能実習生に対し「災害発生時の注意点」等について講話を実施した。
- ・ 釧路市連合町内会に対して、防災に関する机上訓練など、防災啓発活動を実施した。



技能実習生への防災講話



連合町内会での防災啓発活動

# 森林整備・治山対策

(根釧西部森林管理署の取組事例)

- ☆関係市町村： 釧路市・釧路町・標茶町・弟子屈町・鶴居村・厚岸町
- ◆ 水源涵養機能の維持・向上のため、適切な間伐及び更新作業等を実施しています。
  - ◆ 土砂の流出を抑制する溪間工などの治山工事を実施しています。

高性能機械による間伐



苗木の植付作業



管理用の林道等作設



更新予定箇所の地表処理



保育のための下刈作業



治山工事(溪間工)



## (森林整備センターの取組事例)

◆ 釧路川水系流域  
流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施しています。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策



次年度以降も引き続き計画的に除間伐等の森林整備を実施予定

## (釧路総合振興局の取組事例)

◆ 釧路川水系流域  
流域治水に資する下刈等の森林整備を計画的に実施しています。

森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備対策



次年度以降も引き続き計画的に除間伐等の森林整備を実施予定

# 森林整備対策

## (釧路総合振興局の取組事例)

◆ 阿寒川水系流域  
流域治水に資する下刈等の森林整備を計画的に実施しています。

森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備対策



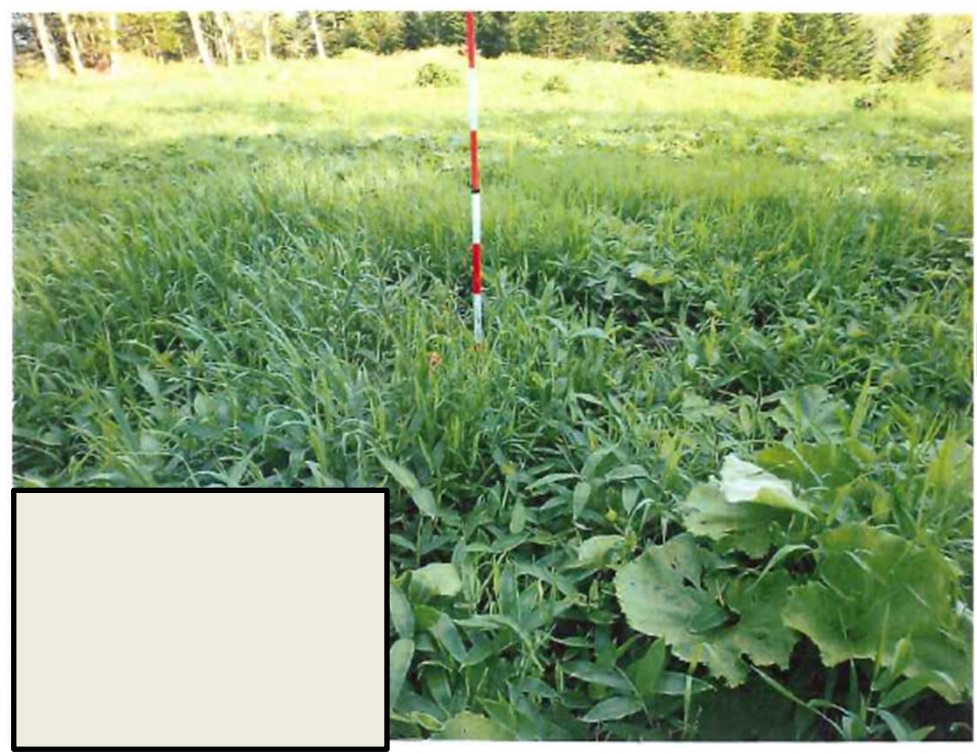
次年度以降も引き続き計画的に除間伐等の森林整備を実施予定

# 森林整備対策

## (釧路総合振興局の取組事例)

◆ 尾幌川水系流域  
流域治水に資する下刈等の森林整備を計画的に実施しています。

森林の水源涵養機能の維持・向上のための森林整備対策



次年度以降も引き続き計画的に除間伐等の森林整備を実施予定

## (北海道の取組事例)

- ◆ 洪水氾濫を未然に防ぐため、流下能力が不足している箇所において、掘削工・護岸工を実施し、流下能力の向上や河岸浸食の防止に努めた。
- ◆ 堤防天端の整備(越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策)を行っている。

### 河川改修及び河道内樹木や土砂の除去

- ・釧路川、別保川、阿寒川、春採川における河川改修の実施。
- ・河道内の樹木の伐採や土砂掘削の実施。

### 護岸工及び堤防天端の保護

- ・釧路川と別保川で護岸工や堤防天端の舗装工を実施した。



阿寒川における掘削状況



幌呂川における河道内樹木の伐採状況

釧路川の護岸工の状況



釧路川の堤防天端舗装の状況

## (北海道の取組事例)

- ◆令和元年度に北海道が管理している釧路建設管理部管内の河川に監視カメラを設置しているが、現地の水位状況を把握するため量水標を設置している。
- ◆量水標は令和6年度に釧路管内4箇所を設置済み。
- ◆量水標は認識性の高い大型タイプを採用し、水位危険度により色別としている。
- ◆国土交通省「川の防災情報」では、河川監視カメラによる水位状況をリアルタイムで確認出来る。



舌辛川(釧路市)に設置した量水標(令和5年度設置)



別保川(釧路町)に設置した量水標(令和5年度設置)

# 新たな水位周知河川指定へ向けた取組、ホットラインの拡充

(北海道の取組事例)

- ◆ 新たな水位周知河川指定に向け、水位設定の検討や洪水浸水想定区域図の作成業務を実施。
- ◆ ホットラインの拡充(電話による情報提供により、避難指示等、発令の判断を支援する仕組み)

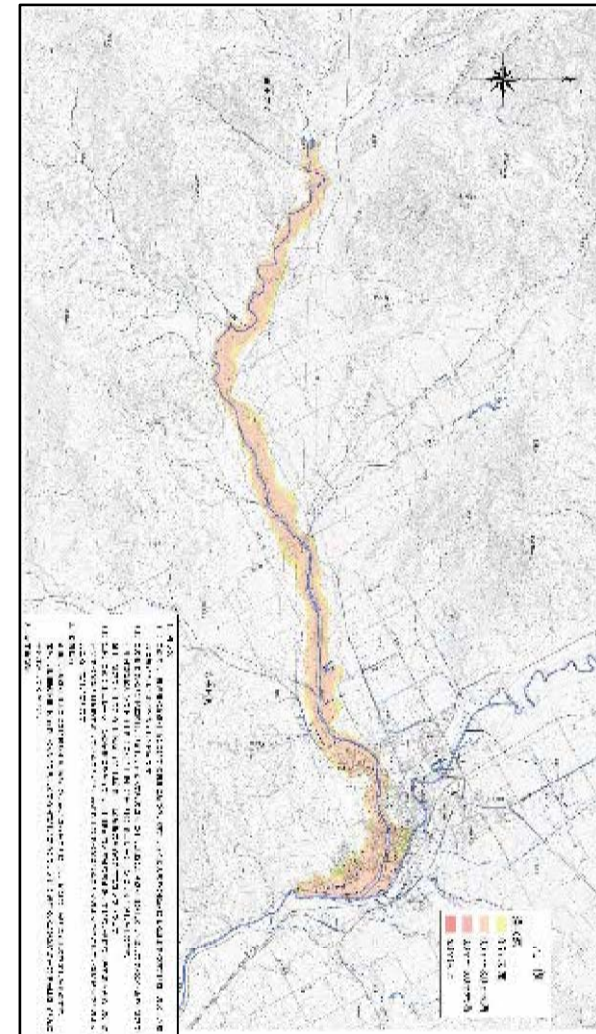
## 新たな水位周知河川指定に向けた取組

### ○ 鑑別川

- ・ 水位周知河川指定に向け、令和6年度に浸水想定区域図の作成、令和7年度に基準水位設定を行う。
- ・ 関係機関との協議を行い、令和7年度末までに水位周知河川に指定予定。



鑑別川 水位周知河川予定箇所



鑑別川 浸水想定区域図 (iRIC等)

# 釧路市音別地区の防災訓練・気象防災ワークショップへの協力

## (釧路地方気象台の取組事例)

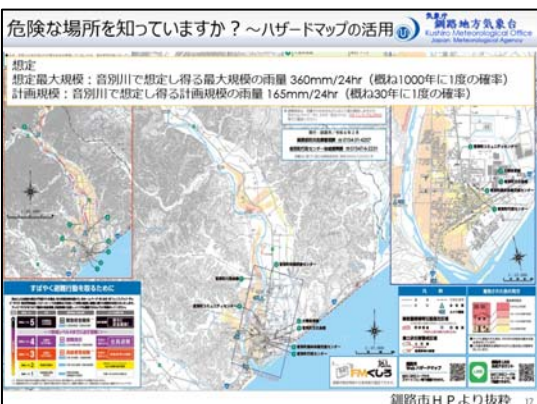
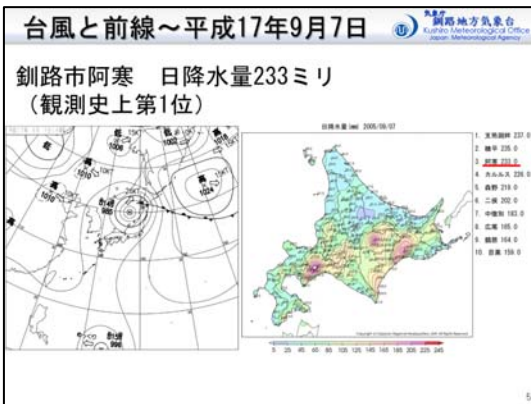
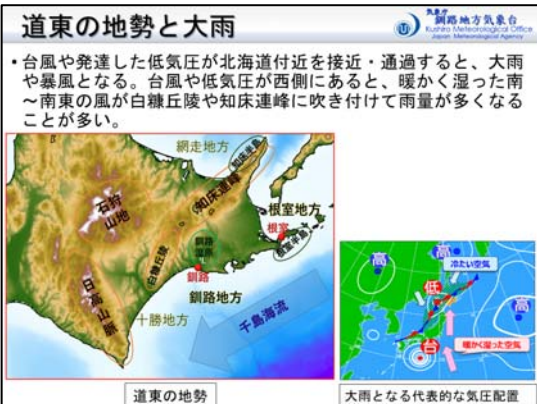
◆音別川洪水ハザードマップの完成を踏まえて令和6年7月30日に釧路市音別地区にて開催された「令和6年度 釧路市防災訓練（音別地区）」に協力し、「大雨と水害について」講演を行ったほか、中小河川洪水災害を対象とした気象防災ワークショップを実施した。

### 釧路市防災訓練（音別地区）講演

- ・釧路地方で大雨になりやすい気圧配置、防災気象情報とキキクル（危険度分布）の着目すべき点、警戒レベルと防災気象情報の関連性について、天気図や資料を用いて説明を行った。

### 気象防災ワークショップ

- ・音別町行政センター、消防、学校、医療機関の職員が参加。洪水災害の恐れがある想定で、発表される情報をもとに、どのような判断、何に対応すべきか班ごとに討議し発表。内容、着目点について解説を行った。



### 5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	自治体の対応	気象庁等の情報	気象庁の発表
5	身の危険 直ちに安全確保！	緊急避難要請	大雨 特別警戒	大雨 特別警戒
4	危険な場所から全員避難	避難要請	大雨 警戒	大雨 警戒
3	危険な場所から避難者以外避難	避難要請	大雨 注意	大雨 注意
2	川の増水に注意	注意	大雨 注意	大雨 注意
1	平常の生活	平常の生活	平常の生活	平常の生活

【場面3】  
【状況付与】 30日 14:30

- ・既に **10:16** に洪水警報（警戒レベル3相当）が発表されています。
- ・C川の水位が水防団待機水位に達しました。
- ・防災課では直ちに次の情報を確認しました。
- ・解析雨量・今後の雨（降水短時間予報）
- ・雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）
- ・流域雨量指数の予測値
- ・洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）
- ・台風第10号進路予想図
- ・C川の水位（水位観測点W）
- ・雨量観測点X、Yでの雨量の推移

【場面3】  
【グループ発表】 場面3

グループで検討した結果を発表してください。

- ① 住民の避難に関して、いつの時点でどのような判断をすべきか？ **そのように決めた理由も説明してください。**
  - ・「警戒レベル3 高齢者等避難」や「警戒レベル4 避難指示」等を発令すべきか？
  - 発令するならばいつ頃発令するか？対象区域は？ など
- ② 現在の状況において住民等に伝達すべきことは何か？
  - ・誰に対して、どのような方法で伝達するか？
  - ・伝達にあたって、どのようなことに注意すべきか？

3分以内で発表をお願いします。



## (釧路開発建設部の取組事例)

### ◆ 釧路川弟子屈地区・標茶地区

氾濫による危険性が特に高い弟子屈・標茶市街地において、洪水を安全に流下させるために必要な河道掘削と堤防整備を実施しています。

#### 弟子屈地区

(釧路川右岸弟子屈町湯ノ島地先)

R7年度

河道掘削  $V = 2,480 \text{ m}^3$

護岸整備  $L = 280 \text{ m}$

#### 標茶地区

(釧路川右岸標茶町標茶地先)

R7年度

河道掘削  $V = 28,800 \text{ m}^3$

堤防整備  $L = 1,840 \text{ m}$



## (釧路開発建設部の取組事例)

- ◆令和6年5月に60m<sup>3</sup>/min級の排水ポンプ車を1台追加配置しました。
- ◆これにより、内水氾濫発生時等の排水能力が令和4年度時と比較して2倍となりました。
- ◆出水時、出動要請いただく場合は釧路開発建設部防災課または釧路河川事務所へご連絡願います。

機 械 名	配備状況
排水ポンプ車	30m <sup>3</sup> /min級
	30m <sup>3</sup> /min級
	60m <sup>3</sup> /min級(R5.6月 標茶町内に配置)
	60m <sup>3</sup> /min級(R6.5月 標茶町内に配置)
台数計(能力計)	4台(180m <sup>3</sup> /min級) ※R4年度時は3台(90m <sup>3</sup> /min級)



排水ポンプ車(60m<sup>3</sup>/min級)



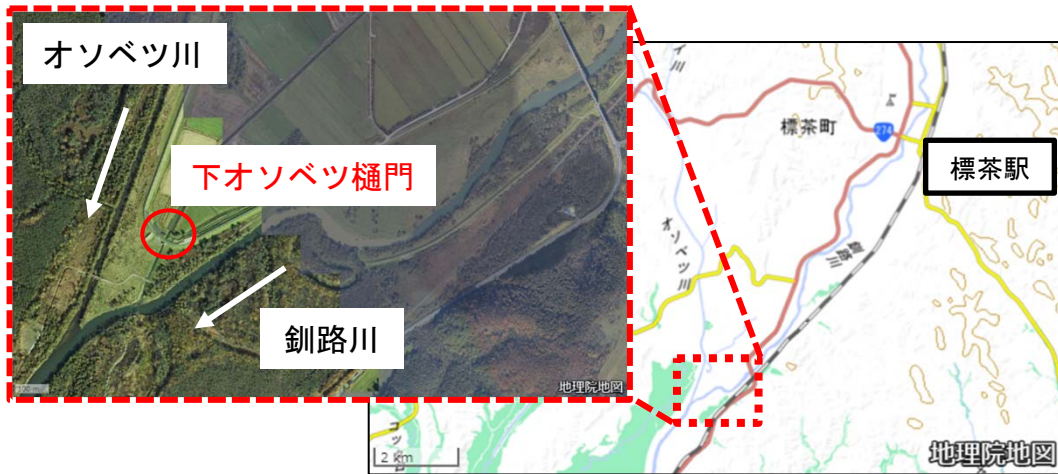
活動の様子

## (釧路開発建設部の取組事例)

洪水による内水氾濫を想定して、災害協定業者が排水ポンプ車を用いた排水及び照明車による投光訓練を行い、災害発生時における一連作業の確認を行いました。

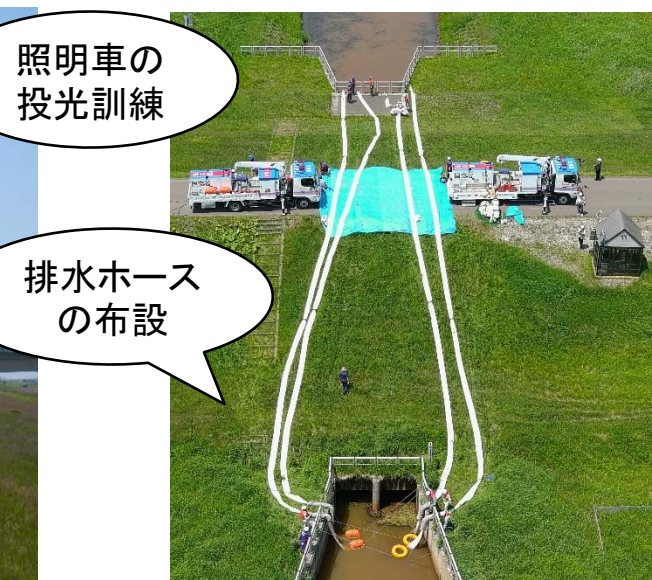
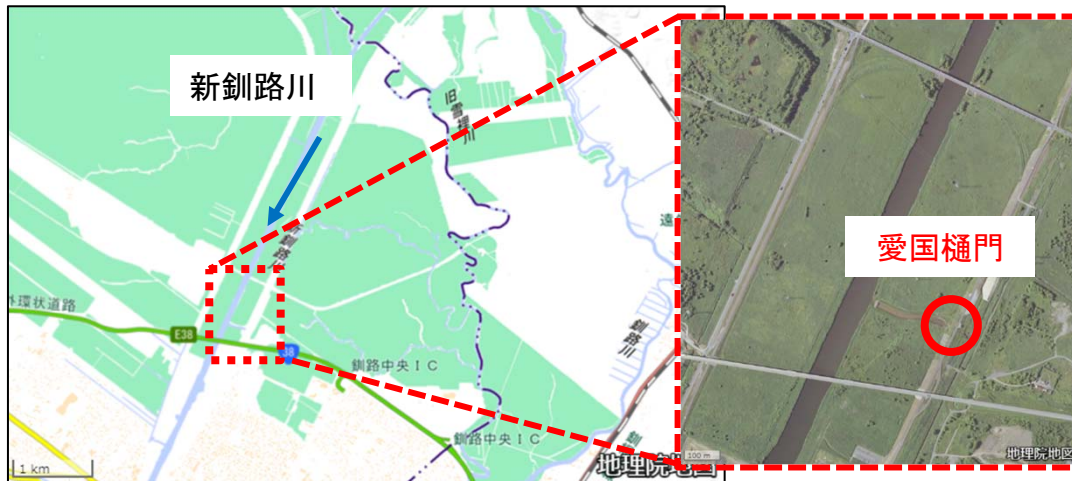
実施日：令和7年6月12日(木)

実施場所：釧路川 KP37.6 下オソベツ樋門



実施日：令和7年6月19日(木)

実施場所：新釧路川 KP4.5左岸 愛国樋門

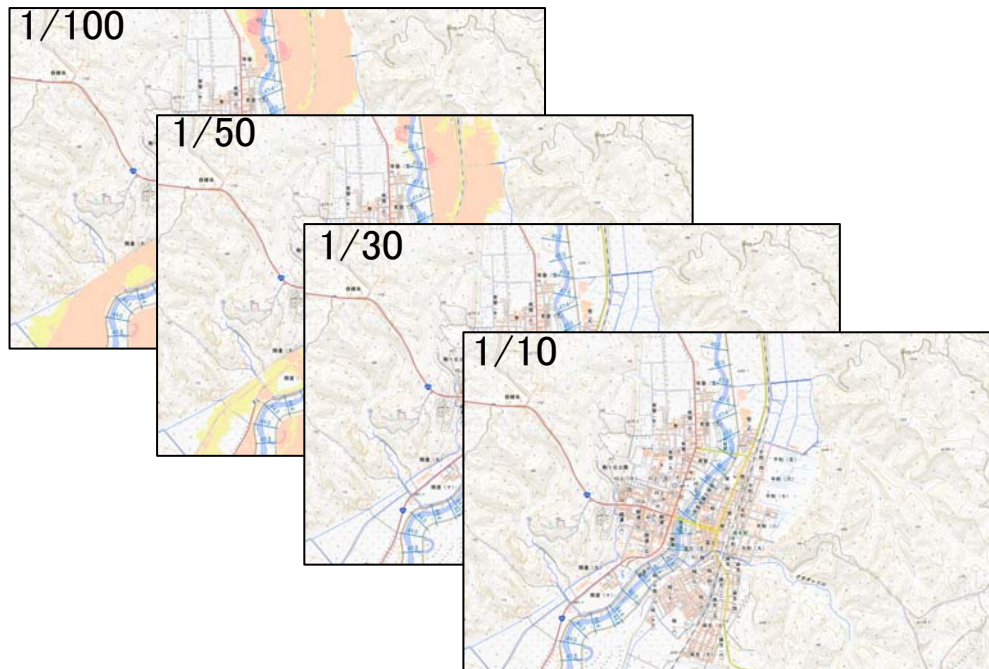


# 釧路川水系内外水統合の水害リスクマップ公表について

## (釧路開発建設部の取組事例)

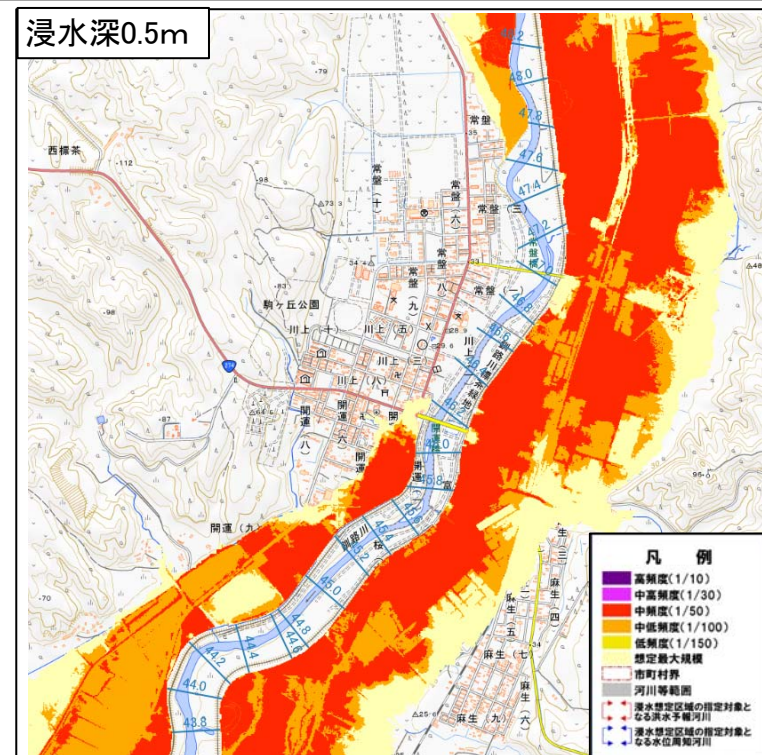
◆ 釧路川では、これまで国管理区間の氾濫状況を示す多段階浸水想定図・水害リスクマップを公表してきたが、流域治水の更なる推進のため、国管理河川以外の河川の氾濫や下水道等による内水氾濫を考慮した内外水統合型の多段階浸水想定図・水害リスクマップを新たに公表する。

多段階の浸水想定図



- 高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎(年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100)に作成した浸水想定図。
- 現在公表している図は、国管理河川からの氾濫による浸水のみを対象。

水害リスクマップ(浸水頻度図)



- 多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎(0.0m以上、0.5m以上(床上浸水以上)、3.0m以上(1階軒下浸水以上))に重ね合わせて作成した図面。
- 現在公表している図は、国管理河川からの氾濫による浸水のみを対象。